

# 広島市歯科医師会だより

一般社団法人広島市歯科医師会

第 124 号

(H29.8.17)

## 今月のトピックス

お知らせ

広島市保育園及び認定こども園保健功労者表彰制度の創設……………1 ページ

行事報告

介護予防事業に携わる専門職のための基礎研修会……………1 ページ

第 2 回 四者会議……………3 ページ

広島市学校保健会 平成 29 年度第 2 回理事会・表彰審査委員会……………4 ページ

第 4 回広島市三師会役員懇親ゴルフ大会……………4 ページ

広島通信病院 感染防止対策研修会……………4 ページ

第 141 回 臨時代議員会……………5 ページ

第 59 回 広島市学校保健大会……………6 ページ

広島市歯科医師会原爆死没者慰霊祭……………7 ページ

支部だより

中区支部……………7 ページ

東区支部……………11 ページ

西区支部……………12 ページ

各部からの報告

保険・医療対策部……………12 ページ

地域歯科保健部……………13 ページ

広報部……………14 ページ

FM ちゅーピー……………22 ページ

7 月定例理事会報告……………22 ページ

## お知らせ

### 広島市保育園及び認定こども園保健功労者表彰制度の創設

広島市が設置・運営する保育園又は認定こども園において、園児の健康管理などの職務に従事する医師又は歯科医師を表彰し、その功績をたたえとともに、園児の健康の保持及び増進の一層の振興発展を図ることを目的として、標記の制度が創設された。これは昨年 11 月 1 日に松井一實広島市長を来賓として開催された三師会において、本会が市長に直接要望した提案がこの制度の新設に繋がったものである（広島市歯科医師会だより第 115 号にて既報）。表彰は功労表彰及び永年表彰からなる。9 月開催の表彰審査会を経て本年 11 月に表彰式開催の予定。

## 行事報告

### 介護予防事業に携わる専門職のための基礎研修会

日時：7 月 9 日(日)午前 10 時 30 分

場所：アステールプラザ広島「中ホール」

介護予防事業（地域支援事業）を効果的かつ効率的に展開していくためには、地域リハ

ビリテーションの視点に基づき多職種連携を基にした「口腔」「栄養」「運動」「社会参加」

への一体的な取り組みが柱となる。そのため、介護予防事業に携わる専門職の人材育成として、歯科医師、管理栄養士、リハビリ専門職等が事業の目的や取組の方向性など基本的な事項についての共通認識を持った上で、更なる連携強化を図ることができるよう、各関係機関が連携し基礎研修会を開催することにより、また専門職相互のスキルアップを図るとともに、広島市における介護予防への取組を効果的かつ加速度的に推進することを目的として、広島県リハビリテーション支援センター、広島県地域包括ケア推進センター、広島市、広島県、県歯会、市歯会、広島県栄養士会、広島県理学療法士会、広島県作業療法士

会、広島県言語聴覚士会の共催で標記研修会が以下のプログラムで開催された。



研修会の様子

広島市の地域包括ケアシステム構築に向けたビジョン	広島市健康福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課 課長 荻原和宏 氏
広島県における地域リハビリテーション支援体制	広島県健康福祉局地域包括ケア・高齢者支援課 健康長寿グループ 主任 西川香織 氏
自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント	広島県介護支援専門員協会 常任理事 望月マリ子 氏
自立支援に向けた口腔ケアの必要性	広島市歯科医師会 理事 小松大造 氏
自立支援に向けた栄養管理の必要性	広島県栄養士会 副会長 木村要子 氏
住民運営の通いの場「介護予防拠点」の効果及び専門職の役割	地域づくりによる介護予防推進支援事業に係る 広島県密着アドバイザー 今田直樹 氏

前述の関係職種、行政が一同に参画する研修会は全国的にも初の試みで、県内或いは全国での模範になるものと期待する。

本基礎研修会は今後も継続的に行っていく予定で、更に関係職種の相互乗り入れでスキルアップ研修等もイメージされている。

当日の参加者数及びその内訳は以下の通りである。

参加者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・462人  
 (内訳) リハビリ専門職・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・292人  
 歯科医師・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18人  
 歯科衛生士・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10人  
 栄養士・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22人  
 地域包括支援センター職員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56人  
 居宅介護支援事業所(介護支援専門員)・・・・・・・・・・・・・・39人  
 行政職員(県・市・区役所職員)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25人

本会は、地域包括ケアシステムの構築に向けて、自立支援に向けた医療・介護サービスの提供や連携はもとより、住民が住み慣れた地域でいきいきと自立した生活をするができるよう、多職種ならびに地域の住民と協働して地域づくりに取り組む所存である。

## 第 2 回 四者会議開催

日時：7月11日(火)午後7時30分

場所：県歯会館2階「大会議室」

8月3日(木)開催予定の第59回広島市学校保健大会併催の「よい歯の集い」におけるよい歯の学校・児童表彰者選考のため、市歯会、広島市教育委員会代表、広島市立小学校長会

代表、広島市小学校教育研究会健康教育部会代表で構成する標記会議を開催し、以下の規程により表彰校及び表彰児童を決定した。

### 歯の優秀校並びに優秀児童の表彰規程及びその結果

#### 1. 児童表彰の部

(1) 対象 広島市立小学校6年生

(2) 選出方法

①第6学年の結果において、永久歯、乳歯、軟組織を対象として、う歯及び処置歯が全くない者、口腔清掃の完全な者不正咬合及びその他の疾病のない者を**よい歯の健康大賞**と認定する。

この結果、総数4,398名(内広島市歯科医師会としては1,997名)がよい歯の健康大賞として認定した。

②第6学年の結果において、永久歯、乳歯、軟組織を対象として、処置の完全な者、口腔清掃の完全な者、不正咬合及びその他の疾病のない者を**よい歯の賞**と認定する。

この結果、総数2,839名(内広島市歯科医師会としては1,386名)がよい歯の賞として認定した。

#### 2. 学校表彰の部

(1) 対象 広島市立小学校

(2) 選出方法

①定期健康診断の結果から、処置完了者率、健全者率を算出し、審査会へ提出する。

$$\text{処置完了者率} = \frac{\text{処置完了者}}{\text{処置完了者} + \text{未処置者}} \times 100$$

$$\text{健全者率} = \frac{\text{受検人員} - (\text{処置完了者} + \text{未処置者})}{\text{受検人員}} \times 100$$

②学校歯科保健活動資料

学校歯科保健活動の状況について事前に調査票を送付し、その回答内容について点数化し、審査会へ提出する。

以上①、②の資料を基に特別優秀校、優秀校、優良校及び努力校を以下のように決定した。

特別優秀校 伴南小学校

優 秀 校 古市小学校

吉島小学校(波田佳範氏)

優 良 校 安東小学校 矢野小学校

中島小学校(津田祐一氏)

可部南小学校

努 力 校 庚午小学校(進藤典久氏)

原小学校

亀崎小学校

特別支援学校(上田裕次氏)

己斐東小学校(椿田直也氏)

段原小学校(森永行雄氏)

五月が丘小学校

可部小学校 五日市南小学校

梅林小学校 亀山南小学校

湯来西小学校

(下線は本会からの表彰校)

## ——広島市学校保健会 平成 29 年度第 2 回理事会・表彰審査委員会——

日時：7月14日(金)午後7時

場所：中区地域福祉センター(大手町平和ビル)5階「大会議室」

標記会議が開催され、8月3日(木)に開催される広島市学校保健大会についての協議、同

大会で行われる広島市学校保健功労者表彰の受賞者決定などが行われた。

本会会員からの受賞は以下の通り。

### 広島市学校保健功労者表彰

特別支援学校学校歯科医 上田裕次氏

袋町小学校学校歯科医 荒谷恭史氏

牛田新町小学校学校歯科医 寺迫 環氏

## 第 4 回広島市三師会役員懇親ゴルフ大会

日時：7月17日(月)午前7時30分

場所：広島カンツリー倶楽部「西条コース」

快晴で絶好のゴルフ日和の中、標記の会が開催された。この会は、20年以上前に開催されており、しばらくの間中断されていたところ、松村誠広島市医師会会長のゴルフ熱から、松村会長と川原正照市歯会会長との間で再開が同意されたものである。

第4回目の今回は当会、市歯会の主催で行われ、この度は松井一實広島市長にもご参加頂いた。県歯会館駐車場に松井市長および三師会参加者が集合し、チャーターした大型バスに便乗して会場へ向かった。バスの中では松井市長から市政の現状報告についてのお話があり、三師会からは昨年本会が市長に直接要望し、この度実現の運びとなった「広島市保育園及び認定こども園保険功労者表彰制度」についてのお礼や、今後も松井市政を支えることの確認について協議する事が出来た。

ダブルペリア方式で行われたゴルフコンペの結果は、個人戦で、川原正照市歯会会長が前回に続き連続優勝。上位ネット3人の合計で争われた団体戦では、市歯会の4連続優勝とはならず、僅差で広島市医師会が優勝した。

次回は、広島市薬剤師会の主催で来春に開催、松井市長にもご参加頂く予定である。



松井一實市長を囲んでラウンド前の集合写真

## 広島通信病院 感染防止対策研修会

日時：7月19日(水)午後5時30分

場所：広島通信病院東館3階「会議室」

標記研修会が開催され、加藤千季地域歯科保健部委員が「誤嚥性肺炎の予防のための口腔ケアについて」と題して、病院長、医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、放射線技師、臨床検査技師、事務職員等約60名に対し講演を行った。

講演ではまず、本会会員の協力歯科医に係る施設の実例を交え専門職による口腔機能・口腔衛生管理を行う事により、施設入所者の

肺炎死亡率の減少、施設スタッフの口腔に対する意識向上に関する有効性について解説した。

続いて、レセプトデータベース(NDB)のオープンデータでは、47都道府県の中、広島県は周術期口腔機能管理計画策定料を算定している医療機関数の割合が最も高く、平成27年と平成28年の算定医療機関数を比較すると、約3倍に増加しており、周術期口腔機能管理



における病診連携の実績が明らかになっていることを伝えた。

最後に、誤嚥体験の実習を通じて、口腔ケア時の姿勢について解説した。

講演後、参加者からは「とても勉強になった。もっと歯・口腔に関する事について関心を持っていきたい」などの意見が聞かれ、次回講演の要望も伺えた。

本講演は、歯科のない病院との連携を深める第一歩として有意義なものであり、地域歯科保健部は組織的な病診連携を目指して、こ

のような講演等を今後も取り組んでいきたいと考えている。



講演をする加藤千季氏

## 周術期口腔機能管理を行っている歯科医療機関

- 都道府県別の周術期口腔機能管理計画策定料の算定状況は、保険医療機関数に対する算定医療機関数の割合が約1%～約10%と地域差がみられる。
- 平成27年と平成28年を比較すると、算定医療機関は全体的に増加傾向にある。

周術期口腔機能管理計画策定料の算定状況



出典：NDBデータH27.5月診療分、H28.5月診療分(保険局医療課調べ)

## 第141回 臨時代議員会

日時：7月27日(木)午後7時15分  
 場所：県歯会館2階「ハーモニーホール」

代議員定数81人中全員出席のもと、会議招集者である荒川信介県歯会会長が仮議長に就き、会議宣告に続き、片山巖県歯会副会長から開会の辞が述べられた。続いて、議長・副議長の選出に入った。荒川仮議長より、慣例に従い推薦による選出について提案があり、全会挙手をもってこれを了承した。

議長には川原正照市歯会会長、副議長には喜田勝幸氏(福山)がそれぞれ推薦を受け、承認決定した。次に議長・副議長の就任挨拶後に、川原議長から議事録署名者として、川端康司氏(佐伯)、里見圭一氏(東広島)が指名された。続いて、物故者に対して出席者全員が弔意の黙祷を奉げた後、荒川会長より挨拶が

あり、報告事項・議事事項・協議事項へ移り、  
全て承認可決した。

最後に、7月末日をもって定年により退任する  
栞田博昭県歯会事務局長に、荒川県歯会会  
長から感謝状が贈呈された。小島隆県歯会副  
会長の閉会の辞をもって、会議を終了した。

### 1. 報告事項

- (1) 選挙管理委員会委員、報酬・給与審議  
会委員、裁定審議会委員について
- (2) その他

### 2. 議事事項

- (1) 第1号議案 公益社団法人日本歯科医  
師会代議員・予備代議員  
補欠選挙の件
- (2) 第2号議案 その他の案件

### 3. 協議事項

- (1) 時局対策について
- (2) その他



議事進行を務める川原正照会長（左）と  
臨時代議員会の様子（右）

## 第59回広島市学校保健大会

日時：8月3日(木)午後2時15分

場所：「JMSアステールプラザ」

主催：広島市学校保健会、広島市教育委員会

「生涯にわたって健康で安全に生き抜く子  
どもの育成」をテーマに、広島市学校保健会、  
広島市教育委員会の主催、広島市 PTA 協議会  
の後援で開催された。

はじめに開会行事として松村誠広島市学校  
保健会会長の挨拶があり、続いて表彰式が行  
われた。本会関係では、上田裕次氏・荒谷恭  
史氏・寺迫環氏が広島市学校保健功労者表彰  
を受けた。さらに、よい歯の学校表彰、よい  
歯の健康大賞の表彰も執り行われた。

続いて、分科会が開催され、歯科の分科会  
である「よい歯の集い（市歯会・広島市教育  
委員会主催）」は、小羽田敦正安佐歯会理事の  
司会のもと進行された。川原正照会長が来場  
者へ「フッ化物の応用・だらだら飲み食いの  
防止・かかりつけ歯科医院へ定期的な受診」3  
つのお願い、として挨拶をした。続いて、光  
畑智恵子広島大学大学院准教授が「いつまで

も『よい歯』を保つために」と題する講話を  
行った。

その後、よい歯の児童表彰式が行われ、各  
学校代表の児童一人ずつに川原会長から賞状  
が手渡された。最後に熊谷宏副会長の閉会の  
辞をもって、日程を終了した。

本年度の、本会関係の表彰校ならびに児童  
表彰は以下の通り。

### よい歯の学校表彰

優秀校：吉島小学校、特別支援学校、  
己斐東小学校

優良校：中島小学校、段原小学校

努力校：庚午小学校

### 児童表彰

よい歯の健康大賞 4,398名

よい歯の賞 2,839名



(左から)川原正照会長、上田裕次氏、荒谷恭史氏、熊谷宏副会長（写真左）と  
表彰状を渡す川原正照会長（写真右）

## 広島市歯科医師会原爆死没者慰霊祭

日時：8月6日(日)午前8時

場所：県歯会館「原爆慰霊碑前」

広島は今年で72回目の原爆の日を迎えた。被爆20周年記念平和式典を機に昭和42年、中区富士見町の旧会館前に「原爆の碑」が建立され、昨年までに「広島市歯科医師会原爆死没者慰霊祭」は50回を数えた。

この度の県歯会館の新築移転に伴い、東区二葉の里の新会館敷地内へ「原爆の碑」を移設し、2月12日に遷座入魂開眼式を挙行、今回が初めての慰霊祭となる。この場所は北に“広島東照宮”を臨み、隣接する「二葉の里第二公園」(通称シリブカ公園)にはシンボルツリーの被爆クスノキを擁する慰霊の場としては最適の環境である。

「原爆の碑」の前に祭壇を設けて、約50名の参加者が集い、本山智得専務理事の司会のもと、差すような日差しの中、しめやかに慰霊祭が執り行われた。

中区支部会員である、日蓮宗長遠寺院首長崎昭憲導師と、住職長崎龍深副導師による読経のもと、川原正照市歯会会長、県歯会会

長代理山崎健次副会長による献花の後、焼香が行われた。原爆投下時刻の午前8時15分に本会関係者51名の死没者に対し、黙禱を捧げ、冥福を祈った。

川原正照会長は「昨年5月にオバマ大統領が現職のアメリカ合衆国大統領として初めて広島市を訪れ、原爆慰霊碑に献花をした。核軍縮に対する大統領の強い思い入れは、原爆ドームを背にした17分間の「所感」の中にも現れていたが、その一方で北朝鮮では核実験、ICBMの発射を実行しており、その矛先はアメリカではなく我が国に向いている。我が国の領土に着弾しても反撃することができない矛盾だらけの憲法を改正しない限り日本国民は常に恐怖にさらされている。尊い犠牲となった51名の御霊に対し恒久平和と変わらぬ哀悼の意を表することを誓う」と挨拶した。続いて、山崎健次県歯会副会長から来賓のご挨拶を頂き、熊谷宏副会長の閉会の辞で、慰霊祭を終了した。

### 広島市歯科医師会原爆死没者慰霊祭 次第

- 一、開式之辞
- 一、道場偈(導師)
- 一、勸請(導師)
- 一、読経(導師)
  - 開経偈、方便品、自我偈、唱題
  - 献花 焼香
- 一、回向(導師)
- 一、奉送(導師)
- 一、黙禱(午前八時十五分)
- 一、挨拶 広島市歯科医師会会長 川原正照氏
- 一、来賓挨拶 広島県歯科医師会会長 荒川信介氏
- 一、閉式之辞



焼香の様子(左)と挨拶をする川原正照会長(右)

## 支部だより

### 中区支部

#### 広島市中区地域保健対策協議会

日時：7月7日(金)午後7時

場所：中区地域福祉センター5階「小会議室」

伊藤欣朗中区医師会理事の司会進行の下、正岡亨中区医師会会長の挨拶に始まり、議事事項として、主なものに平成28年度事業報告、

収支決算、監査報告並びに平成29年度事業計画(案)、予算(案)などが協議された。



そして、その他の案件として本会中区支部から波田佳範支部長より「おくちの健康展」などの事業報告が行われた。

隅田一成中区長の閉会の挨拶により、会議を終了した。

なおこの会議には中区支部より波田支部長、小松大造理事が出務した。



協議会の様子

### 中3班 親睦研修旅行

日時：7月8日(土)、9日(日)

場所：「香川県高松市」

#### 1日目

新幹線と岡山よりマリンライナーで瀬戸大橋を渡り香川高松に。

チェックインの後、市内を散策した。香川県高松市の中心市街地に日本一と呼ばれるアーケード・高松中央商店街はある。市民の生活拠点でありながら、旅行ガイドブックにも載る一大名所でもある。途中3本の幹線道路を挟み続くアーケードの総延長は2.7kmと日本最長のアーケードとしてだけでなく、最北端にある高松中央商店街のシンボルでもある高さ32mのクリスタルドームは、アーケード構造としても日本一を誇る。

夜は70年の歴史を誇る料亭二蝶で地元の地酒を飲みながら、三味線、踊りを楽しんだ。お座敷遊び金毘羅船々であっという間に時間が過ぎた。



#### 2日目

##### 歯ART美術館

ホテルよりジャンボタクシーにて高松市郊外にある今回の最大の目的である歯ART美術館に向かった。

歯ART美術館は2005年に香川県高松市郊外に和田精密歯研KKが設立した。この美術館は瀬戸内海の志度湾に面した白い4階建ての建物で遠くは小豆島が見える。



(歯ART美術館 紹介)

##### 4階 企画展示

地元作家を中心に、絵画、工芸、写真など様々なジャンルの作家による作品を展示。多くの新進気鋭の芸術家が参加。

##### 3階 多目的ギャラリー/児童画展示

数百台のクラシックカメラ、珍しいカメラ、懐かしいカメラが多数展示。

世界各国の歯がついた仮面(面)の収集品がズラリと並んでいる。

中国のタケノコから作られた仮面(面)も珍しい。

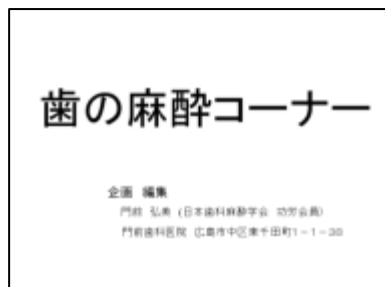
##### 2階 歯に関する展示室

1) 歯科インプラントの歴史から各種インプラントの展示や、最新3Dプリンターによる頭



部の精巧な模型がある。差し歯、入れ歯の制作工程なども展示。

2) 市民にわかりやすい「歯の麻酔コーナー」の常設。門前弘美先生が企画、編集のもと、2014年に開設された。



歯科治療が怖い、痛いと思いが強く、さらに麻酔の注射はなお不快感を抱かれる。一般市民にわかりやすく、今と昔の麻酔法を展示解説している。

### 体験コーナー：あなたも歯科医になってみませんか

- ①学生実習用注射器を使用して、局所麻酔薬の注入ができる。
- ②電動注射器を持って、作動できる。注入速度がわかる。注入時さわやかな音が響いてくる。
- ③フェイス・スケールのものさし展示。自動点灯尺度により、どの程度の痛みがあるか見ることができる。

- ④笑気の鼻呼吸監視装置の展示。スムーズな鼻呼吸ができるか調べることができる。



### 笑気鎮静器の展示

- サイコリッチ（持続的吸入器）2台
- ワールドセブン（間歇的吸入器）1台



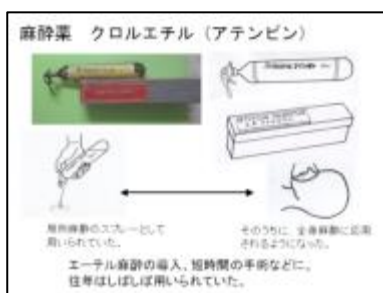
### 局所麻酔薬の展示

古い麻酔薬、今日の麻酔薬を展示されている。



褐色のガラス容器：クロルエチル（アテンピン）の展示。

抜歯の局所麻酔のスプレー（寒冷麻酔）として用いていた。そのうちに、患者が気化したものを吸い、予期せぬ全身麻酔に入った。エーテル麻酔の導入、短時間の手術などに、往年はしばしば用いられていた。



## 1階 喫茶 Happy / ショッピングコーナー（展示）

歯ブラシなど歯に関するものから、歯ART美術館オリジナルグッズなど取りそろえてあった。そのなか、歯科医師が考案した歯ブラシの展示もありました。

## 国際美術館

あの大塚製薬が建てた美術館なのですが、本物は一つもなく、すべてレプリカとなっており、しかも入場料が日本一高い。しかし、とても人気があり、実際に訪れてみるとその値段に納得する。

この美術館に所蔵されている作品は、ピカソ、モネ、ルノワール、レオナルド・ダ・ヴィンチと名だたる世界の画家のものばかり。しかし、オリジナル作品は一点もない。

ゆっくり鑑賞すれば1日かかると思うが、帰りのJRの都合により早々に美術館を後にした。

ルネッサンスリゾートナルトで素晴らしい景色を堪能しながらゆっくりと昼食をいただ

歯科医師が考案した歯ブラシ

- ・携帯歯ブラシ  
（小田正秀氏 広島・小田歯科医院）
- ・ボニカ歯ブラシ  
（武田明信氏 広島・武田歯科医院）

いた。最後に名物の骨付鳥を買って高松駅に向かった。

今回は美術館を2つ鑑賞するという有意義な旅行になった。



## 中区老人クラブ連合会 全体会対象の健康教室

日時：7月13日(木)午後1時30分

場所：中区地域福祉センター5階「大会議室」

広島市中区厚生部健康長寿課、中区老人クラブ連合会 主催の標記健康教室が開催された。加藤千季市歯会中区支部会員・地域歯科保健部委員が「健康はお口から～守ろう、あなたのお口の健康～」と題して、約60名の参加者に講演を行った。

講演ではまず、オーラルフレイルが低栄養と運動機能の低下に関連していることを説明し、短期集中通所口腔ケアサービスの有効性を解説した。

また、参加者各自が取り組める口腔ケアとして、あいうべ体操、唾液腺マッサージ等の実習を行い、これらが口腔機能低下予防につながることを説明した。

最後にオーラルフレイルの引き金となりうる歯周病について解説し、かかりつけ歯科医院での定期健診における口腔機能・口腔衛生管理の重要性を伝えた。

講演後、参加者からは誤嚥性肺炎の予防等に関する質問が寄せられ、関心の高さが伺われた。

その後、村上千鶴広島県歯科衛生士会広島地区会理事からブラッシング指導、デンタルフロス等の補助器具の使用法や口腔周囲筋等の健口体操の実習も行われ、本教室は盛況のうちに終了した。

本支部では市民に対して直接かかわりを持ち、フレイル予防周知の為、この様な講演を今後も継続して取組みたいと考えている。



講演をする加藤千季氏

## 第8回吉島地区多職種連携会議

日時：7月15日(土)午後3時

場所：吉島福祉センター2階「小会議室」

会議の冒頭中区医師会の伊藤欣朗理事より開会挨拶、田丸卓弥吉島圏域在宅医療推進リーダー一医より趣旨説明が行われた。

まず始めに、事例検討がありグループワークでそれぞれの職種の意見交換が行われた。

今回の主な趣旨はリハビリ職の理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)の役割を学ぶものであり、それぞれの職種を代表して、PTの松本祥生氏(吉島病院訪問看護ステーションわかば)、OTの信岡直行氏(土谷訪問看護ステーション)、STの瀬川淳子氏(広島赤十字原爆病院)の3氏より講演が行われた。そしていずみ整形外科クリニック デイケアいずみのほとりの鳥井浩司理学療法士より「在宅におけるリハビリテーションの在り方」

についての講義があり、病院内でのリハと在宅でのリハのあり方についての内容であった。

閉会挨拶は高橋浩一吉島圏域在宅推進リーダー医によって行われた。

なお、この会議には中区支部より波田佳範支部長、小松大造氏、荒谷恭史氏、石嶋誠司氏、前田羊一氏、橋本佳子氏、加藤千季氏、小島将督氏、櫻井博之氏、長谷川聰氏が出務した。

### 平成 29 年度 中区支部懇親会

日時：7月22日(土)午後7時

場所：オリエンタルホテル広島 23階「ムーングロー」

当日は宇品の花火大会が開催されたにも関わらず、参加者は昨年以上であった。

有田一喜理事司会進行の下、波田佳範支部長による挨拶、川原正照市歯会会長による来賓挨拶が行われた。そして、関野憲三氏が乾杯の音頭をとった。

宴の途中で、波田支部長より平成29年の新入会会員の今村典裕氏、櫻井博之氏、長谷川聰氏が紹介され、3氏ともども力強い決意を述べた。それから恒例のビンゴ大会へと移行した。悲喜交々の情景と今年はホテルのラウンジの窓から宇品の花火大会が見られるという

予想外の企画が加わり、例年以上の盛り上がりを見せた。

閉会の辞を三次みさと副支部長が行い、会はお開きとなった。



懇親会での集合写真

## 東区支部

### 医療と介護・地域の多職種連携会議

日時：8月1日(火)午後7時

場所：広島市東区総合福祉センター3階「大会議室」

標記会が広島市二葉地域包括支援センターの主催で開催された。医師、歯科医師、(東区支部から木村太言氏、寺迫環氏、山崎和広氏、竹本美保氏、野村登志夫氏、橋田崇文氏)、薬剤師、ケアマネジャー、理学療法士、言語療法士、介護施設職員、民生委員、訪問介護、病院職員、行政担当者など53人が出席した。能美和基地域歯科保健部理事が「在宅訪問歯科診療について」と題して在宅における口腔ケアなどの基本的な内容や理念、実際のケースでの体験を織り込んで講演を行った。また摂食障害や嚥下障害の話では、全員で30秒間に何回唾を飲み込めるか?などの実習などを行い、多くの方の関心を寄せた。講演の後に能美和基氏から訪問診療実際のケースについて、グループに分かれ各職種でどのように関

われるかを話し合い、グループ代表が発表した。最後に閉会の辞を谷本雅伯谷本クリニック院長が、在宅における歯科検診の重要性や多職種とのますますの連携が必要であると述べ、閉会した。



講演をする能美和基氏



## 西区支部

### 西区子どもの健康講座

日時：6月29日(木)午後1時30分

場所：西区地域福祉センター3階「機能訓練室」

広島市西区の子育て事業の一環として、西区厚生部保健福祉課の主催で行われている子どもの健康講座にて、豊田育星市歯会西区支部会員・地域歯科保健部委員が「子どもの歯の守り方」と題して講演を行った。

講演は「子どものお口のなか」「むし歯のでき方」「むし歯を防ぐ方法」の3つのテーマに焦点を当てた内容であった。まず、口腔には健全な発育のための役割が多くあることを伝え、その後、具体的な歯ブラシの選び方や歯磨きの仕方、仕上げ磨きの必要性、デンタルフロスの使用、かかりつけ歯科医での定期健診の重要性を解説した。乳幼児とその保護者35組が参加し、にぎやかな会場での講演であったが、熱心にメモをとる参加者も見受けられ、子どものむし歯予防に対する熱意が伝わってきた。

講演後の質疑応答では「歯間ブラシとフロスの違いはなにか」や「仕上げ磨きは何才まですればよいか」など保護者の方が日常疑問に思っていることを伝える事ができ、大変有意義な時間であった。その後8組の希望者に対して個別の相談会も行った。

今後も本支部は地域からの依頼には積極的に対応し、地域に根差した歯科保健活動を行っていく予定である。



講演をする豊田育星氏

## 各部からの報告

### 保険・医療対策部

### 中小企業経営強化税制の創設

平成29年度税制改正により、中小企業経営強化税制が創設されました。同税制の適用には、中小企業等経営強化法の認定が必要となります。

\*\*\*\*\*

#### 1. 制度の概要

青色申告書を提出する①中小企業者が、②指定期間内に、中小企業等経営強化法の認定を受けた経営力向上計画に基づき③一定の設備を新規取得等して④指定事業の用に供した場合、即時償却または取得価額の10%(資本金3,000万円超1億円以下の法人は7%)の税額控除を選択適用することができます。

	現行制度	改正概要
中小企業投資促進税制	<b>【上乗せ措置】</b> 税額控除7%(10%)・即時償却 先端設備(A類型) 生産性が年平均1%以上向上 生産ライン等の改善に資する設備(B類型) 投資利益率5%以上のパッケージ投資	<b>【中小企業経営強化税制】⇨拡充</b> 税額控除7%(10%)・即時償却 生産性向上設備(A類型) 生産性が年平均1%以上向上 収益力強化設備(B類型) 投資利益率5%以上のパッケージ投資
	<b>【通常措置】</b> ※税額控除7%・30%特別償却	<b>【中小企業投資促進税制】</b> <b>【商業・サービス業活性化税制】</b> ※税額控除7%・30%特別償却

※は、資本金3,000万円以下の法人等に適用

指定期間は平成29年4月1日から平成31年3月31日までの期間となります。

## 2. 一定の設備

類型	生産性向上設備(A 類型)	収益力強化設備(B 類型)
要件	生産性が旧モデル比年平均 1%以上向上する設備	投資収益率が年平均 5%以上の投資計画に係る設備
確認者	工業会等	経済産業局
対象設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械装置 (160 万円以上/販売開始 10 年以内)</li> <li>・測定工具及び検査工具(30 万円以上/販売開始 5 年以内)</li> <li>・器具備品(30 万円以上/販売開始 6 年以内)</li> <li>・建物附属設備(60 万円以上/販売開始 14 年以内)</li> <li>・ソフトウェア(70 万円以上/販売開始 5 年以内)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械装置 (160 万円以上)</li> <li>・工具(30 万円以上)</li> <li>・器具備品(30 万円以上)</li> <li>・建物附属設備(60 万円以上)</li> <li>・ソフトウェア(70 万円以上)</li> </ul>
その他の要件	生産等設備を構成するものであること(事務用器具備品、本店、寄宿舎等に係る建物附属設備、福利厚生施設に係るもの等は該当しません)/国内への投資であること/中古資産・貸付資産でないこと等	

## 3. 手続き

A 類型：販売開始時期と生産性要件について、工業会等から証明書を取得した上で、中小企業等経営強化法の認定を受ける必要があります。

B 類型：経済産業大臣(経済産業局)による投資計画の確認を受けた上で、中小企業等経営強化法の認定を受けるという二つの手続きが必要になります。

\*\*\*\*\*

## 地域歯科保健部

### ビューティフル歯ッション賞推薦のお願い

ビューティフル歯ッション賞は、歯周病予防のために歯間清掃器具の普及を目的とした賞ですが、近年応募者数が減少傾向にあります。

昨年度は 1,000 人を割り込んでいることから、本年度は 2,000 人を目標としていますので是非多くの歯科医院からの推薦をお願いいたします。

推薦用紙ですが、事務局へお問い合わせいただくか、広島市歯科医師会ホームページよりダウンロードできますので、よろしくをお願いいたします。

一般社団法人 広島市歯科医師会 Official Site

～お口の健康は全身の健康の源です～



一般向け各種資料

[フッ素と定期健診でむし歯予防](#)

[フッ素で、いい笑顔。](#)

[1歳6か月がスタートライン!!](#)

ログイン

ユーザー名

パスワード

ログイン状態を保存

関連サイト

広島県歯科医師会

クリック

『「8020」いい歯の表彰の推薦及び「ビューティフル歯ッション賞」の推薦用紙』

から推薦用紙の PDF をダウンロードしプリントアウトしてお使いください。

4月からの節目年齢歯科健診は新しい健診票にてお願いいたします。

※訂正とお願い

- 新しい健診票のアンケート部分、設問7のd 内蔵型肥満→内臓型肥満

- 「節目年齢歯科健診票」マニュアル

喪失歯の判定基準の欠損補綴歯 (○)→(△)

喪失歯の判定基準	
要補綴歯(△)	喪失部位に補綴処置がしていないもので、歯列等の関係から補綴処置の必要性が認められるものをいう。
欠損補綴歯(○)	喪失部位に補綴処置がしてあるものをいう。 (注)一部破損していたり、欠損部と著しく異なる義歯は装着していないものとする。
補綴不要歯(×)	智歯等の未萌出歯、先天性欠如または何らかの理由で歯を喪失したことが明らかであっても、歯列等の関係から補綴処置の必要性が認められないものをいう。

- 受診者が 40 歳の場合、健診票 2 枚目の「現在歯・喪失歯の状況」の7. 40歳をみの喪失歯の有無に印願います。

- 医療機関コードの記入は○○—○○○○. ○とお願いいたします。

広 報 部

今月の知っておきたいこと

リンク切れはご容赦を。  
記事の確認は自己責任にてリンク先でお願いします。  
最新記事はホームページにてご覧ください。

▼平成 30 年度診療報酬改定など、諸課題を議論

日本医師会と日本歯科医師会は7月13日(木)、意見交換会を日本医師会館で開催しました。第2回目の開催となる今回は、平成30年度診療報酬改定に向けた現時点の課題を確認した他、▽控除対象外消費税問題▽受動喫煙の防止対策を強化・実現するための署名▽病院における歯科の配置▽2020年の東京オリンピック・パラリンピック対応—などについて、両会が共通認識を共有するべく意見交換を行いました。

日本歯科医師会の堀憲郎会長は6月16日よりスタートした第二次堀執行部としての意気込みを語るとともに、「両会でより顔が見える関係の構築をする機会になればと願っている」と挨拶しました。

また、日本医師会の横倉義武会長は、堀会長が就任して以来、より緊密な連携を構築するべく意見交換会を開催できていることに謝意を述べるとともに、今後の両会の協働に意欲を見せました。

本意見交換会は、平成30年度のトリプル改定を控え、今後の医療政策に関する認識の共有などを目的に日本歯科医師会が提案し、昨年10月に第1回会議を開催しました。

日歯プレスリリース(2017年7月22日)

<http://www.jda.or.jp/jda/release/170721.html>



※引用者注記

プレスリリース中にある「トリプル改定」とは、診療報酬と介護報酬のダブル改定に改正介護保険法の施行を加えたものを指していると思われます。30年4月はこれに加え、「第7次医療計画」「第3期医療費適正化計画」「第7期介護保険事業計画」がスタートします。

## ▼社会保障関係費、自然増 6300 億円まで - 来年度予算の概算 要求基準を閣議了解

政府は20日の臨時閣議で、来年度予算の概算要求基準を了解した。医療や介護などの社会保障関係費の高齢化に伴う“自然増”を6300億円まで認めている。ただ、政府の財政健全化に向けて伸びを5000億円程度までに抑える「目安」があり、約1300億円分をどう縮減するかが課題になる。

閣議了解された基準では、社会保障関係費の伸びを抑えるため、政府の財政健全化に向けた計画の工程表に沿った制度改革に最大限取り組むと明記している。

この工程表では、審議会などで検討して年度内に結論を得る制度改革のメニューとして、病院を外来受診した患者が支払う定額負担や、後発医薬品を使わない患者の自己負担の見直しなどを挙げている。

また病院などの収益状況を踏まえた入院料の適切な評価や、慢性期の医療提供体制の地域差是正、薬局の評価や「通所介護などその他の給付」の適正化などに、来年春の診療・介護報酬の同時改定で対応するとしている。そのほか、医薬品の公定価格（薬価）の決め方の抜本改革に取り組む方針も掲げている。

社会保障関係費の伸びを抑えるためには、医療や介護サービス、医薬品などの公定価格の引き下げか、患者・利用者の自己負担などの引き上げが不可欠で、予算編成過程で決まる診療・介護報酬の改定率などが注目される。

### AI や遠隔診療に特別枠

来年度予算の概算要求基準には「特別枠」があり、政府が先月決定した「未来投資戦略2017」（投資戦略）などを踏まえた事業がその対象となる。

投資戦略の中では、▽遠隔診療を使った生活習慣病の重症化予防を診療報酬で評価▽医師の画像診断などをAI（人工知能）で支援する新技術の開発・実用化を後押し▽医療や介護のビッグデータを連結して、研究者などが分析できるようにする「保健医療データプラットフォーム」の設計に着手—といった方針を政府が示しており、そうした取り組みのための予算が優先的に配分される可能性がある。

Yahoo! ニュース(2017年7月21日)

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20170721-15000000-cbn-soci>

## ▼鈴木医務技監「薬価財源を介護・障害に配分」を示唆

厚労省の鈴木康裕・医務技監は7月13日、厚生日比谷クラブとの会見に応じた。同11日付で就任した医務技監の役割として、医学的な専門的見地に関わる領域で、「3つの境を越える」と発言。局・課間、省庁間、国家間を横断する領域で調整を担う役割を強調した。政策については「基本的には局長以下にやってもらい、屋上屋を重ねることはしない」と述べる一方、医療・介護の同時改定を含め、必要に応じて積極的に関わっていく姿勢をみせた。特に、予算編成における社会保障の自然増抑制を達成する際の調整に言及。自然増を抑制する政府の方針の中で、医療・介護・障害の報酬改定において、プラスの財源となるのは「おそらく薬価財源だけ」と指摘し、薬価の財源を診療報酬だけでなく、介護・障害にも配分する可能性を示唆した。

Web医療と介護(2017年7月18日)

<https://info.shaho.co.jp/iryuu/trend/201707/2250/>

## ▼歯科検診で児童30人の乳歯を抜歯 学校歯科医を辞職

兵庫県姫路市立安室東小（田寺東2丁目）で、学校歯科医が、歯科検診時に児童30人の乳歯を抜歯したことがわかった。市教育委員会が13日、発表した。保護者の同意を得ていないことから、市教委は不適切な医療行為だったとしている。医師は、学校歯科医を辞職したという。

市教委によると、検診は6月14、15日にあった。抜歯された児童1人の保護者の抗議で判明した。学校歯科医は、市歯科医師会の調べに対し、「永久歯のかみ合わせを良くし、虫歯を予防するため、ぐらついていた乳歯を抜いた。保護者の同意を取ることは考えなかった。軽率だった」と答えているという。

市教委などは、抜歯された児童のうち希望した6人に対し、今月13日に臨時歯科検診を実施した。

アピタル(2017年7月14日)

<http://www.asahi.com/articles/ASK7F7SCDK7FUBQU01M.html>

-追加記事-

NHK NEWS WEB 7月14日 7時20分

小学校の歯科健診で児童30人の乳歯抜かれる 兵庫 姫路

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20170714/k10011057981000.html>

先月、兵庫県姫路市の小学校で歯の健診が行われた際、40代の歯科医師が児童30人の乳歯を抜いていたことがわかりました。歯科医師は保護者の同意がなかったことについて、「軽率だった」と認め、市の教育委員会は「健診の範囲を超えた行為で不適切だった」としています。

姫路市教育委員会によりますと、先月14日と15日に市内の安室東小学校で歯の定期健診が行われた際、学校歯科医を務める40代の歯科医師が、2年生から6年生の児童合わせて30人の乳歯を抜いたということです。

1人の保護者から「希望していないのに歯を抜かれた」と学校に連絡があり、明らかになりました。乳歯を抜かれた中には出血した児童がいたほか、2人がショックを受けたとしてスクールカウンセラーからケアを受けるということです。

歯科医師は聞き取りに対し、「永久歯との交換をスムーズにするため、抜いた」と説明し、保護者の同意がなかったことについて、「軽率だった」と認めて学校歯科医を辞任したということです。教育委員会は「健診は虫歯の有無などを調べるのが目的で、歯を抜くのは健診の範囲を超えた治療行為で不適切だ」として、今後、学校歯科医を対象にした研修を行うなど、再発防止に努めるとしています。

## ニュースピックアップ

### ▼子の虫歯、親の学歴で格差 成長につれ差が拡大 東北大

子どもの虫歯の割合は、親の学歴によって差があり、子どもの成長につれて差が広がるという調査結果を、東北大の研究グループがまとめた。家庭環境によって健康格差が大きくなることを示しており、研究者は公的な支援の必要性を指摘している。

子どもの虫歯は、親の学歴や収入と関わりがあると言われていたが、この格差が子どもの成長につれてどうなるかは、あまり研究されていないという。

東北大の相田潤・准教授（歯科公衆衛生学）らは、厚生労働省が実施している、2001年生まれの子どもを対象にした追跡調査の約3万5千人のデータを分析。両親の学歴で四つのグループに分け、2歳半から1年ごとに過去1年間に虫歯治療を受けた子どもの割合を算出し、比較した。

その結果、両親とも大学以上を卒業した家庭では、虫歯治療を受けた子の割合は2歳半で5・6%、5歳半で31・5%だった。一方、両親が中学または高校卒業の家庭では、2歳半で8・5%、5歳半で41・5%で割合が高かった。虫歯治療を受けた割合の差の広がり方にも、統計学上の意味があったという。

相田さんは「家庭環境によらず、メリットが受けやすい乳幼児健診での啓発、フッ素塗布など虫歯になりにくい支援をより充実させることが重要だ」と話している。

Yahoo NEWS 2017年6月19日

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20170619-00000046-asahi-soci>



#### Point of View

◎子どものむし歯の割合は親の学歴によって差があり、子どもの成長につれて差が大きくなるという研究結果が出たようです。家庭環境によって健康格差が大きくなることが示唆されました。どのような家庭環境であっても、口腔内の健康を維持できるような仕組み（子どもの窓口負担の軽減等）を作っていくことが必要かと思われます。

### ▼よくかむことが、脳の発達に重要

咀嚼刺激の低下が記憶・学習機能を障害する仕組みをマウスで解明

子どもの頃、「よくかんで食べなさい」と親から言われて育った、という人は少なくないはず。よくかむこ

とで満腹中枢が刺激されダイエット効果があるというのもよく耳にする。しっかりかむことは、体にとって非常に大事なことのようだ。東京医科歯科大学大学院は、神戸大学と共同研究を行い、食べ物を細くなるまでかみ砕く「咀嚼（そしゃく）」の刺激が成長期に低下すると、記憶を司る脳の海馬という部分の神経細胞が変化して、記憶や学習機能に障害を引き起こすことを、マウスの実験で突き止めた。研究の詳細は、科学誌「Journal of Dental Research」（電子版）に掲載されている。

#### かむことの少ないマウスで記憶や学習機能を検討

柔らかく栄養価の高い加工食品が普及する中、わたしたちの咀嚼回数は劇的に少なくなっている。成長期にこの咀嚼回数が低下すると、顎の骨やかむための筋肉（咀嚼筋）ばかりでなく、脳の発達にも悪影響を及ぼすことが知られている。

また、加齢に伴い歯を失い咀嚼がうまくいかなくなると、認知症のリスクが高まることが分かっている。現在、世界的に高齢化が進んでいることから、咀嚼機能の低下とそれに伴う脳機能の低下が大きな問題となっているという。

しかし、咀嚼機能と、記憶や学習、感情などを含めた「高次脳機能」との関係には、不明点も多い。高次脳機能障害を予防するためにも、咀嚼機能と脳機能がどのように関連しているか、その仕組みを解明することが重要な課題とされた。

そこで研究グループは、離乳期から成長期にかけて粉末食を与えることで、咀嚼による歯や顎の骨、筋肉などへの刺激を低下させたマウスを作製し、咀嚼機能と脳機能との関連について検討した。

まず、研究グループは、明るい箱と暗い箱を用意し、固形食を食べて成長した正常マウスを明るい箱に入れた。すると、不安を感じたマウスは即座に暗い箱に入った。暗い箱に入った際に電気ショックを与え、マウスに恐怖を学習させたところ、それ以降マウスは暗い箱に入るのをためらったという。

次に、咀嚼刺激の少ないマウスで同様の実験を行ったところ、これらのマウスは電気ショックの恐怖を忘れ、正常マウスより早く暗い箱に入ってしまった。

つまり、咀嚼刺激の少ないマウスは、正常マウスに比べ、歯と顎の骨、筋肉の成長が抑制されるだけでなく、記憶や学習機能も著しく障害されてしまうことが判明した。

そこで、記憶と学習を司る脳の海馬という部分を解析したところ、咀嚼刺激の少ないマウスは、神経活動が低下し、神経細胞数が減少していた。

今回の研究結果を振り返り、研究グループは「成長期に咀嚼刺激が低下すると、あごの骨や咀嚼筋の成長が抑えられてしまう。すると、海馬をはじめとする脳神経系の発達が妨げられ、記憶・学習機能が障害される可能性が示された」とコメント。

さらに、研究グループは、「記憶・学習機能障害や認知症の予防にとって、咀嚼機能の維持または強化が有効だ」とし、「将来的に人を対象とした研究を含め、咀嚼機能と脳機能を結びつける仕組みがさらに詳しく解明されれば、認知症や記憶・学習機能障害の新たな治療法や予防法の確立につながるかもしれない」と今後を期待を寄せた。

今回はマウスの検討であり、人での解明が待たれるところだが、ぬれせんべいを買いにふらりと立ち寄った店で、ちょっと硬めのおせんべいを手に取ってしまいそうでは？ いずれにしても、普段からよくかむことを意識したい。

（あなたの健康百科編集部）

メディカルトリビューン（2017年07月07日）

<http://kenko100.jp/articles/170707004347/#gsc.tab=0>

#### Point of View

◎「よく噛んで食べるということが胃腸のために良い」ということは以前より言われていますが、脳の発達にも影響するというのは驚きです。きわめて個人的な意見ですが、患者さんには「噛むと筋肉が働くので弱い電流が流れます。これが脳を刺激する期待があるので頭が良くなるかもしれませんが」と冗談交じりにいうことがあります。あながちまったく的外れというわけではないかもしれませんがね。

## ▼診療報酬、AIが審査で効率化 厚労省

厚生労働省は、診療報酬の請求を審査する「社会保険診療報酬支払基金」の合理化策を公表した。報酬支払いの審査に人工知能（AI）を導入することを柱にした。AIの活用によって2022年度までに審査の9割についてコンピューターで処理する目標を盛り込んだ。都道府県ごとにばらつく支払いルールをできる限り統一し、業務の効率化をすすめる。



診療報酬の請求の仕組みをめぐっては、現在、医療機関から報酬の請求を受けると、基金の職員や医師らが明細書を審査している。これをAIを活用して大半をコンピューターだけの審査に切りかえる。20年度までにシステムを完成させる。

システム完成後もコンピューターだけで対応しきれない一部の審査は職員らが担うという。ただ、新規採用の抑制などで現在の職員数の2割にあたる約800人を減らす方針もあわせて示した。

また支払基金は都道府県ごとに支部があり、これまで支払いのルールにばらつきがあった。AI処理の導入にあわせシステムを都道府県で可能な限り統一することにした。審査基準も今までより明確にする。

組織の統合も検討する。政府の規制改革会議などから「都道府県ごとにある基金支部は集約すべきだ」という指摘を受けていたことを踏まえ、厚労省は遅くとも18年度までに、一部の地域で組織を統合し、問題点を検証する。支払基金は運営経費が年間約800億円かかっており、厚労省は経費削減も求めていく方針だ。

日本経済新聞 2017年7月6日

<http://www.nikkei.com/article/DGXLZ018526960V00C17A7EE8000/>

### Point of View

◎厚生労働省は、診療報酬の請求の審査に人工知能(AI)を導入していく方針のようです。コンピューターで審査をすることによって、人員を削減し、人件費を減らす目的もあるようです。社会保険診療報酬支払基金は運営経費が年間約800億円かかっているようです。医療保険制度の維持のためにも、改善の余地があると思われます。

## ▼要介護にならない秘訣とは

### 自分の歯を維持できる高齢者は要介護になりにくい

日本は、世界を代表する長寿大国だが、ただ長生きすればいいという訳ではなく解決すべき課題も抱えている。医療や介護に依存せず、いかに健康な状態で長生きできるかという「健康寿命」が重要視され、その延伸のために国はさまざまな策を講じている。そんな中、東北大学大学院歯学研究科などの研究グループは、歯の維持と健康寿命との関連について研究し、高齢期に自分の歯が多く保たれている人は、健康寿命が長く、要介護でいる期間が短いことを明らかにした。詳細は、6月13日発行の科学誌「Journal of Dental Research」(電子版)に掲載されている。

### 歯の本数による健康寿命の差は、85歳以上で顕著に

これまでの研究では、歯が多いと死亡率が低いことや要介護になりにくいことが示されている。しかし、要介護でいる期間との関連は明らかにされていなかった。

そこで、研究グループは、要介護になる前の歯の本数と、寿命・健康寿命・要介護でいる期間との関連を明らかにすることを目的に、要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者7万7397人を3年間追跡した。

対象者には、自己記入式の質問用紙に回答してもらった。歯の本数は、「0本」「1~9本」「10~19本」「20本以上」の4区分とした。各自治体のデータベースから、死亡日と要介護度2以上の認定日入手し、質問用紙のデータと合わせて分析した。

死亡や要介護の発生に影響を与えそうな要因を取り除くため、年齢、入れ歯の使用、学歴、所得、過去の病歴、主観的な健康感、転倒経験、喫煙状況、飲酒状況、歩行時間、体格指数(BMI)などを調整した上で、男女別に分析を行った。

その結果、自分の歯の本数が多く保たれていると、単に寿命が長いだけでなく、健康寿命も延伸することが分かった。また、要介護でいる期間が短いことも明らかになった。

65~69歳、75~79歳、85歳以上の3グループに分け比較したところ、寿命の差は85歳以上で最も大きく、歯が20本以上ある人は0本の人に比べて、寿命が男性で57日、女性で15日長かった。健康寿命も同様に85歳以上で最も大きく、男性で92日、女性で70日長かった。さらに、要介護でいる期間は、男性で35日、女性で55日それぞれ短かったという。

厚生労働省から出されている「健康日本21(第2次)」では、健康寿命の延伸と、寿命と健康寿命の差を小さくすることが目標として掲げられている。研究グループは、「本研究により、歯の健康を保つことが、健康寿命の延伸と要介護でいる期間の短縮に寄与する可能性が示された」とコメントしている。

せっかく長生きするのであれば、楽しい人生を送りたい。そのためには歯の健康を保つことが重要なようだ。

(あなたの健康百科編集部)

メディカルトリビューン (2017年07月13日)

<http://kenko100.jp/articles/170713004355/#gsc.tab=0>



### Point of View

◎ライオンだったでしょうか。猛獣は歯を失うと死んでしまうという話を聞いたことがあります。人間も歯が多く残っている方が長く健康に生きられそうです。

## ▼ボスキャラ・多剤耐性アシネトバクターとは？

これまでいろいろな耐性菌を紹介してきましたが、実は私たちICT（感染制御チーム）がいま本当に恐れている耐性菌がまだ他にあります。その筆頭株が「多剤耐性アシネトバクター（Multiple Drug-Resistant Acinetobacter＝通称・MDRA）」です。この菌による感染が病院内で頻発したら、どんなに最先端の病院のICTであっても、終息させるまでにはかなり難儀するはず。MDRAは、1980～90年代にボスキャラ的な耐性菌として世界中を席卷したMRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）になぞらえて、「現代のMRSA」と呼ばれています。

幸い、青森県ではまだ数例しか報告されておらず、病院内での広がり（アウトブレイク）は起きていません。しかし、実はここ数年、海外はもちろん、日本のあちこちの大学病院がMDRAで大変な苦勞をしています。多くの場合、入院患者に一例でもMDRA感染が発生すると、次々と他の患者に菌が移り、よほど管理を厳しくしないと、MDRAが発生した病棟や集中治療室は閉鎖に追い込まれるのです。そのようなアウトブレイクが生じた場合には、外部の機関に病院の感染対策を評価してもらい、原因を解明した後、「MDRAの終息宣言」をすることになります。病棟閉鎖が解除されるまでには何カ月もかかることになります。

当然、近隣の病院にも迷惑をかけるので、自分の病院の評判を落とすことになります。ICTや病院長にとっては泣きたくなるような事態です。ちなみに、アシネトバクターは、土壌や河川など、どこにでも生息し、健康な人が感染（保菌）してもまず害を及ぼすことのない菌です。「保菌」なら、多剤耐性菌であっても、治療の必要はありません。

しかし、院内感染では、気管切開して人工呼吸器をつけているような、生命の危険がある患者に定着しやすく、そういう患者では全ての臓器で感染症を引き起こす可能性があります。究極の日和見感染です。弘前大学出身で、日本の感染症の大家である青木真医師は「多くの一般病院では、アシネトバクターに感染していたとしても発見すらされていない可能性が高く、検査態勢の充実した大病院だからこそ発見される感染症と言える。こうした特質から、アシネトバクターは『殺し屋というよりは葬儀屋に近い』」とコメントしています。このコメントは担当医にとっては救いですが、現在は、どんなに救命が難しい症例であっても耐性菌感染を伴って死亡者が出た場合、その因果関係が問われる時代と言えるでしょう。

朝日デジタル

2017年6月30日

[http://www.asahi.com/articles/ASK6Y654TK6YUBQU018.html?iref=com\\_apitop](http://www.asahi.com/articles/ASK6Y654TK6YUBQU018.html?iref=com_apitop)

### Point of View

◎「現代のMRSA」についての話題です。抗生剤と耐性菌については、過去にもピックアップしてきましたが、耐性菌感染対策・管理は、非常に難しく、病院においては最重要課題のひとつとされています。非常に困難かと思いますが、各医院にて、感染拡大が起きないように、対策・管理は徹底してもらいたいですね。

## ▼認知症の幻覚や記憶障害、VR（仮想現実）で体験…恐怖の映像に悲鳴も

認知症を理解する人を増やそうと、幻覚や記憶障害といった症状をVR（仮想現実）で体験できる映像が製作され、各地で体験会が開かれている。「社員研修に使いたい」として、認知症の人と接する機会のある企業や、学校からすでに計4000人以上が参加。

開催を求める声も殺到している。製作した会社は今夏にも、認知症の基本的な知識を学んだ講師の養成を始め、全国に活動を広げる考えだ。

調剤薬局チェーン「薬樹」の東京都内のオフィスで、社員ら約50人が専用のゴーグル型端末とヘッドホンを装着していた。認知症の理解を深める研修の一環で、端末のボタンを押すと、VRの映像と音声の流れ始めた。

画面に柵のないビルの屋上の風景が広がる。顔を下に向けるとビルの下が見え、足がすくむ。「大丈夫、右足から行きますよ」と音声聞こえ、振り向くと、男性が笑顔で語りかけていた。リアルな映像に参加者から悲鳴すら上がった次の瞬間、車から降りる様子に切り替わった。

この映像は、認知症の高齢者が、介護施設の送迎車から降りるのを異様に怖がっていた際に、「屋上から落



画像の拡大

ゴーグル型端末とヘッドホンを着け、認知症の疑似体験をする参加者たち（東京都内）

とされそうになった」と話したことを基に作られた。ほかにも、ケーキの上に虫がいるように見えたり、電車に乗っていて降りる駅が分からなくなったりと、認知症の人の話を参考にしたVR映像がある。

首都圏でサービス付き高齢者向け住宅など約10か所を運営する「シルバーウッド」（本社・東京都港区）が、2016年1月頃から製作を始めた。今後も映像を増やす予定だ。

認知症の人には徘徊はいかいかや暴言、幻覚などがある場合があり、周囲から理解されずにストレスがかかり、より悪化するケースも多い。下河原忠道社長（46）は、「風邪のつらさは経験があるからみんな共感できる。臨場感があるVRを体験することで、認知症の人に共感できるのでは」と話す。

介護や小売りなど認知症の人に接する機会がある事業者からの問い合わせが多く、11月頃までほぼ毎日開催の予定が入っているという。問い合わせは、同社のホームページ(<http://www.silverwood.co.jp/vr/>)から。

◇【VR（仮想現実）】 Virtual Reality（バーチャルリアリティ）の略。コンピューターで作り出された架空の世界や遠く離れた現実の場所が、目の前にあるように感じられる仕組み。専用のゴーグル型端末などを着け、上や下を見たり振り返ったりすると、それに応じて360度の映像が見られる。

yomiDr（2017年6月19日）

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20170619-0YTET50027/?catname=news-kaisetsu\\_news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20170619-0YTET50027/?catname=news-kaisetsu_news)

#### Point of View

◎体に重りを着けた抑制衣を来たり、見えにくいゴーグルをかけて歩いたりして高齢者の疑似体験をする場面は以前、見たことがあります。技術の進歩でこういう体験も可能となったのです。いずれ歯科医師用に患者さんとして歯科治療を受ける疑似体験ができるようになるかもしれません。そうなったらもっと優しくできるかも。

## ▼ネットの医療情報、4人に1人がうのみ…「だまされないうの5項目」確認を

ウェブサイトやテレビの医療・健康情報、4人に1人がうのみ——。聖路加国際大学（東京）の中山和弘教授（看護情報学）らの研究チームが利用者を対象に行った調査で、信頼性の確認をしていない人が最も多く全体の25%を占めていることがわかった。

IT大手ディー・エヌ・エー（DeNA）の医療系サイト「WELQ（ウェルク）」が事実誤認の指摘が相次いだことで休止されるなど、ネット上の不正確な医療情報が問題になっている。研究チームは利用者が自ら適切な情報を得る努力の必要性を訴えている。

調査は昨年10月、医療や健康の情報をサイトやテレビなどから入手した経験がある977人に聞いた。

調査に当たっては、だまされるリスクを減らすために必要な確認作業として、〈1〉いつの情報か〈2〉内容は宣伝目的か〈3〉作成者や運営者は誰か〈4〉科学的根拠が明らかか〈5〉別の人の情報と比べたか——の5項目に着目。これらを行っているかどうかを調べた。

その結果、5項目の確認作業を一つもしない人は243人（25%）で最多。5項目全てしていた人は95人（10%）にとどまっていた。

よく確認作業をする人ほど、公的な研究機関のサイトや一般向け医学書など、多くの媒体を閲覧しようとする傾向もみられた。

yomiDr（2017年6月29日）

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20170629-0YTET50015/?catname=news-kaisetsu\\_news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20170629-0YTET50015/?catname=news-kaisetsu_news)

#### Point of View

◎テレビで見たことがすべて真実に思ってしまうのと同様にインターネット上に書かれているものにして信じ切ってしまうがちです。でもどこのだれが書いているのかわからない場合は信ぴょう性に保証がありません。賢いネット利用者は情報を吟味して消化する必要があります。

## ▼受動喫煙法案見送り 今秋にも提出 厚労相「議論が不足」

塩崎恭久厚生労働相は16日の閣議後会見で、他人のたばこの煙を吸い込む受動喫煙の対策を強化する健康増進法改正案について、今国会での成立を断念したことを正式に表明した。例外的に喫煙を認める飲食店の線引きをめぐる厚労省と自民党が折り合える見通しが立たなかった。塩崎氏は「努力してきたが、結果として、自民党と合意が至らなかった。徹底した議論が不足していた。受動喫煙の被害は科学的に証明されている。その対応も科学的に行わなくてははいけない」と強調。秋にも想定される臨時国会での成立を目指すという。

産経ニュース 2017年6月17日

<http://www.sankei.com/life/news/170616/lif1706160024-n1.html>



### Point of View

◎受動喫煙法案の、今国会での見送りが正式に決まりました。今国会では断念ですが、臨時国会での成立を目指し調整を行うという事です。記事にも書かれている通り、受動喫煙の被害は、科学的に証明されています。少しでもこの被害が拡大されないように、議論をしっかりとしたうえで、早期の成立が望まれますね。

## ▼「頭が良くなる」未承認薬、個人輸入を禁止へ

「頭が良くなる」などの触れ込みで使われている未承認薬について、厚生労働省は22日、個人輸入を原則禁止する方針を決めた。国内の使用実態は不明だが、海外での調査報告などを踏まえ、健康被害や乱用のおそれがあると判断した。対象の未承認薬は「スマートドラッグ」と呼ばれる。本来はてんかんや注意欠陥・多動性障害（ADHD）の治療に使われる薬などで、個人輸入代行業者は、集中力向上や学習能力の改善などを宣伝している。一定の数量内なら税関の確認だけで個人輸入が可能だが、有効性や安全性は不明だ。今後、関係学会や団体の意見を踏まえ、個人輸入禁止対象の品目リストを作成。各税関に、医師の処方箋や指示なしでの個人輸入禁止を通知する。

Yomiuri Online 2017年6月23日

[http://www.yomiuri.co.jp/science/20170623-OYT1T50075.html?from=ycont\\_top\\_txt](http://www.yomiuri.co.jp/science/20170623-OYT1T50075.html?from=ycont_top_txt)

### Point of View

◎「頭がよくなる薬」というのは、ちょっと怪しいのでは？と思ったのは私だけでしょうか。実際に頭がよくなるのなら、私も服用してみたいです。この薬は、本来、てんかんや注意欠陥・多動性障害（ADHD）の治療に使われる薬との事です。個人輸入も禁止になるようです。薬の購入の際には、効能や副作用も踏まえたうえで、慎重な判断が必要ですね。

## ▼求人と条件相違 相談減 16年度、ハローワーク

ハローワークの求人を巡り、厚生労働省は7日、「求人票の内容と実際の労働条件が異なる」といった相談が2016年度に9299件あったと発表した。前年度からは1638件（15%）減少した。厚労省は「企業への是正指導などが奏功した」とみている。

相談を受け、厚労省が実際に求人票と労働条件の相違を確認したのは3608件（39%）。他に企業の説明が足りなかったり、求職者が誤解したりしたケースがあったという。

相談内容は「賃金」（28%）が最多で、「就業時間」（21%）、「職種・仕事内容」（14%）などが続いた。

求人票と労働条件の相違を確認した3608件のうち、982件（27%）は求人票の内容を変更。330件（9%）は職業紹介を一時停止し、311件（9%）は求人取り消しなどの対応を行った。

日本経済新聞 2017年7月8日

[http://www.nikkei.com/article/DGXLASDG07H49\\_Y7A700C1CR0000/](http://www.nikkei.com/article/DGXLASDG07H49_Y7A700C1CR0000/)

### Point of View

◎ハローワークの求人票と実際の労働条件が違うといった相談が前年度から減少したそうです。相談内容は賃金や就業時間が多かったようです。最近では自己主張をするスタッフが増えてきていると聞きますが、これらの結果をふまえ、われわれ歯科医院も求人を出すときは十分注意しましょう。

## ▼茶や納豆の成分に寿命延ばす効果…キウイにも

茶や納豆、キウイなどに含まれる「ピロロキノリンキノン（PQQ）」という成分に、寿命を延ばす効果があることが分かったと、名古屋大学大学院理学研究科の森郁恵教授らの研究グループが発表した。研究成果は、4日付の英科学誌に掲載された。PQQは1970年頃に発見された化合物。その後の研究で、抗酸化作用や神経の保護に効果のあることが分かっており、サプリメントや化粧品などに活用されている。

実験では、人間と似たDNA配列を持つ体長約1ミリの線虫を使用。PQQを線虫に与えて経過を観察したところ、成虫になった後の平均寿命が12・8日から16・8日に3割程度延びたのが確認された。PQQの効果で、細胞に低濃度の活性酸素が発生することにより、生体の防御機能が強化されたという。森教授は「寿命が延びる効果だけでなく、メカニズムにも踏み込めたことが大きい。人間の健康寿命を延ばすための研究にも応用が期待できる」としている。

Yomiuri Online 2017年7月10日

[http://www.yomiuri.co.jp/science/20170707-OYT1T50046.html?from=ycont\\_top\\_txt](http://www.yomiuri.co.jp/science/20170707-OYT1T50046.html?from=ycont_top_txt)

### Point of View

◎今回は、人間とDNA配列が似ている線虫での研究結果という事で、人体への応用となると、まだ追加研究が必要のようです。ただ今回の研究で、PQQの寿命を延ばすメカニズムが解明できたという事は、非常に意味のあることだったのではないのでしょうか。今後の研究に期待です。

## FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」

FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート  
「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から



### 8月2日放送

「歯が生えて間もないお子さまへ」  
広島市歯科医師会 広報部

初めて乳歯が生えてきたお子さまへどのように対応したらよいか、また仕上げ磨きの方法などについてなど、リスナーさんからのご質問へ広島市歯科医師会の先生がお話しします。お口に関する悩みや質問はメール：[dental@chupea.fm](mailto:dental@chupea.fm)、FAX:082(297)7660へ。

### 8月16日放送

「歯のつめものとかぶせもの」  
広島市歯科医師会 広報部

歯のつめもの・かぶせものの説明や歯科矯正の時期、また人から見えるお口の気になる点など、リスナーさんからのご質問へ広島市歯科医師会の先生がお話しします。お口に関する悩みや質問は：メール [dental@chupea.fm](mailto:dental@chupea.fm)、FAX:082(297)7660へ。

## 7月定例理事会報告

### 「部外報告」

- 7月 1日 全国歯科大学同窓会広島県支部長会  
併設文月会
- 7月 3日 再審査
- 7月 3日 第30回地域医療支援病院運営委員会
- 7月 7日 県立広島病院医局会ビアパーティー
- 7月 8日 十三大市歯科医師会役員連絡  
協議会専務理事会議（さいたま）
- 7月 8日 （県）郡市地区会長・専務理事  
合同会議
- 7月 8日 （県）各部総合委員会
- 7月11日 第2回四者協議会
- 7月14日 広島市学校保健会第2回  
理事会・表彰審査会
- 7月17日 三師会対抗ゴルフコンペ
- 7月20日 協議会会計監査
- 7月22-26日 社保診療報酬審査  
（合議26日）

### （連盟関係）

- 7月 8日 松井かずみを囲む会（勉強会）

### 「総務関係」

- 7月 4日 広島市歯科医師会各部総合委員会
- 7月 7日 広島ホームテレビ Jステーション  
『カラダ健康塾』“知覚過敏”  
について収録  
(7月24日放送)川原会長出演
- 7月20日 広島ホームテレビ 『超てれ』  
“節目年齢歯科健診”  
について収録  
(7月29日放送)川原会長出演
- 7月22日 中区支部懇親会
- 7月24日 三役会
- 7月26日 定例理事会  
(慶弔関係)
- 7月13日 中区支部 有田一郎先生ご母堂様  
(有田一喜先生ご祖母様)ご逝去
- 7月15日 南区支部 小笠原健先生ご尊父様  
ご逝去  
(県歯理事会関係)
- 7月 6日 県歯理事会

(1) 総務部 (中島理事)

- 7月 4日 広島市歯科医師会各部総合委員会  
7月 8日 (県)各部総合委員会  
7月12日 警察歯科委員会  
7月13日 入会後面談  
(中区 川本先生、西区 名原先生)  
" 入会前面談 (南区 安達先生、  
西区 箸方先生、西区 石井先生)  
7月21日 総務部委員会  
7月24日 三役と委員会企画について打合せ

(2) 学術部 (岸本理事)

- 7月 4日 広島市歯科医師会各部総合委員会  
7月 8日 (県)各部総合委員会  
7月12日 学術部委員会  
7月24日 三役と委員会企画について打合せ

(3) 保険・医療対策部 (瓜生理事)

- 7月 1日 (県)新入会員サポート研修会  
7月 4日 広島市歯科医師会各部総合委員会  
7月 8日 (県)各部総合委員会  
7月13日 (県)広島県歯科審査連絡協議会  
7月13日 (県)保険部常任委員会  
7月17日 三師会ゴルフコンペ  
7月18日 国保連合会歯科再審査部会  
7月19-23日 国保連合会歯科審査部会  
7月19日 審士会  
7月20日 保険なんでも相談対応  
7月20日 定例委員会

(4) 地域歯科保健部

- 7月 4日 広島市歯科医師会各部総合委員会  
7月 8日 (県)各部総合委員会  
7月10日 地域歯科保健部小委員会  
(予演:加藤(千))  
7月12日 (県)地域保健部、学校保健部、  
介護・福祉医療部、口腔保健セ  
ンター一部常任委員会

<学校保健> (有馬理事)

- 6月29日 新任学校歯科医研修会  
6月30日 (南区地対協)第1回広島市南区  
在宅医療・介護連携推進委員会  
7月 9日 平成29年度介護予防事業に携わる  
専門職のための基礎研修会  
(アステールプラザ広島)  
7月11日 第2回四者協議会  
7月14日 平成29年度広島市学校保健会  
第2回理事会及び表彰審査委員会  
7月15日 (県)日本学校歯科医会学校歯科医  
生涯研修制度基礎研修

- 7月18日 (南区地対協)平成29年度在宅  
医療・介護に関する住民啓発  
イベント(市民公開講座)  
第2回企画会議  
7月21日 (南区地対協)広島市南区地域保健  
対策協議会第1回常任理事会・  
理事会  
・ダブルミラー、グローブ調査について  
・平成29年度広島市学校保健大会及び  
「よい歯の集い」開催について  
・広島市保育園及び認定こども園保健功労者  
表彰(功労表彰・永年表彰)表彰について

<地域連携> (小松理事)

- 6月29日 (社福)福祉広医会 理事会・  
評議委員会  
6月30日 (中区支部)臨時理事会  
7月 5日 (県)平成29年度短期集中口腔  
ケアサービス  
(舌圧測定スクリーニング等)  
モデル事業第4回打合せ  
7月 6日 幟町圏域拠点整備促進事業  
(白島中町老人集会所)  
7月 7日 (中区地対協)第37回常任理事会  
第38回理事会、  
第23回かかりつけ医推進委員会  
7月 9日 平成29年度介護予防事業に携わる  
専門職のための基礎研修会  
(アステールプラザ広島)  
7月13日 中区健康長寿課(中区老人クラブ  
連合全体会)主催健康教室  
7月14日 (県)歯科医師認知症対応力向上  
事業第2回準備会議  
7月15日 認知症カフェ  
" (春野歯科クリニック)  
" (中区地対協)第8回吉島圏域  
多職種連携会議  
7月19日 広島逡信病院感染防止対策研修会  
7月21日 (中区地対協)平成29年度中区  
在宅医療・介護連携推進委員会  
" 平成29年度中区地域ネットワー  
ク会議懇親会  
7月22日 (中区支部)中区支部懇親会  
7月24日 平成29年度広島市在宅医療・  
介護連携推進委員会 第1回  
専門委員会(ICTの活用方策の検討)  
7月25日 (中区地対協)第6回幟町圏域  
多職種連携会議第1回小委員会  
7月26日 平成29年度第2回広島市社会福祉  
審議会高齢福祉専門分科会



### <地域保健> (能美理事)

- 6月29日 平成29年度第2回広島市障害者  
施策推進協議会  
" 協議会対応  
7月3日 協議会対応  
7月9日 平成29年度介護予防事業に携わる  
専門職のための基礎研修会  
(アステールプラザ広島)  
7月10日 第4回東区地域ケアマネジメント  
会議  
" 協議会対応  
7月14日 平成29年度広島市学校保健会  
第2回理事会及び表彰審査委員会  
7月15日 (県)日本学校歯科医会学校歯科医  
生涯研修制度基礎研修  
7月17日 三師会対抗ゴルフコンペ  
7月18日 第1回東区多職種認知症初期  
集中支援事業運営委員会  
" (東区地対協)第6回在宅医療・  
介護連携推進事業企画会議  
" 協議会対応  
7月19日 広島市健康福祉局保健年金課  
との協議  
7月24日 広島市二葉地域包括支援センター  
との協議  
7月25日 (県)第2回簡易唾液検査小委員会

### (5) 広報部 (橋岡理事)

- 7月4日 広島市歯科医師会各部総合委員会  
委員会  
" 7月6日 平成29年はつらつ家族表彰  
(安芸歯会)  
7月10日 広島ホームテレビと協議  
" 委員会(情報発信部)  
7月15日 広島ホームテレビと協議  
7月18日 委員会(情報調査部)  
7月21日 FMちゅーピーと協議  
7月24日 FMちゅーピー収録  
FMちゅーピー  
8月2日 「歯が生えて間もないお子さまへ」  
広報部(市歯会)  
8月16日 「歯のつめものとかぶせもの」  
広報部(市歯会)

### (6) 広島市歯科医師会ホームページについて ホームページアクセス数

一般サイト 訪問者 1,654 (累計 37,096)  
ページビュー 6,986 (累計 173,127)  
会員サイト 訪問者 275 (累計 18,535)  
ページビュー 921 (累計 176,115)  
広報部 … Talking Heads<最新情報>  
掲載件数 80件(6/21~7/20)

### (7) 特別委員会

### (8) 救急蘇生委員会

### (9) 創立100周年記念事業について

7月31日 創立100周年記念事業準備委員会  
第4回会誌編纂委員会

### (10) 各部事業計画について

### (11) 歯科医療安全相談

- 7月5日 苦情 歯科医院の衛生管理  
について(50歳代女性)  
7月11日 相談 義歯作成費用について  
(60歳代女性)  
7月11日 苦情 診療や治療費等の不正  
について(30歳代女性)

### 「協議事項」

- (1) 会費について(1名)  
終身会員資格取得による会費額変更  
について承認
- (2) 入会について(3名)  
3名継続審議中
- (3) 歯科医師会館で開催する軽量級の市民  
公開講座、学術講演会の内容について  
内容・開催時期について検討・協議
- (4) ビューティフル歯ッション賞について  
沢山応募するよう再度確認
- (5) 2歳児フッ素塗布事業について  
内容について確認・協議
- (6) 事務局労働環境整備について  
内容について確認・検討
- (7) その他  
特になし

### 「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、

広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事橋岡優までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: [hiroshima@dentalpark.net](mailto:hiroshima@dentalpark.net)

広報部担当理事 橋岡優 E-Mail: [s.d.c@helen.ocn.ne.jp](mailto:s.d.c@helen.ocn.ne.jp)

広島市歯科医師会ホームページ <http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ PASS : 2442662

## 新会館の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里 3 丁目 2 番 4 号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

